

展開方向Ⅲ：世界情勢の変化への機動的で柔軟な対応

素案

取組の方向性

世界の経験やノウハウを学び、取り込みながら、本道の国際競争力やリスクマネジメント力の向上を図り、大きく変化する世界情勢に機動的かつ柔軟に対応する

(1) 世界を視野に入れた力強い地域経済の確立

背景

- ・グローバル化が地域経済に密接に関わる中、国際情勢の変化が本道にダイレクトに影響
- ・グローバル化に的確に対応するためには、地域の資源を最大限活用し、絶え間ないイノベーションに取り組むことが必要
- ・ロシアによるウクライナ侵略など、これまでの想定を超える大きな国際情勢の変化により道民の暮らしや経済に大きな影響

社会・経済情勢の変化

- ・国内回帰も含めたサプライチェーン<sup>※3</sup>再配置の動き
- ・CPTPPや日EU・EPAの発効など、経済連携の拡大
- ・国際経済活動における共通価値への関心の高まり
- ・グリーン社会の実現という経済構造転換に向けた取組の加速化
- ・気候変動や経済摩擦による輸入原料等の調達リスクの顕在化
- ・ロシアによるウクライナ侵略や東アジアにおける緊張の高まりなど

方向性

- 本道産業の国際競争力の強化
- 力強い農林水産業づくりの推進
- 地域産業の付加価値の向上、ものづくり力の強化
- グローバル・リスクに対応した施策の推進

対応方向

調整中

- ① 潜在力や競争力を有する食や自然、観光などの分野における価値の更なる磨き上げ
- ② 未来を見据えた新たな社会経済の変化への対応強化
- ③ SDGs など世界共通の課題解決に向けた取組と経済的な価値の創造
- ④ 本道の農林水産業の持続的な発展に向けたグローバル・リスクへの対応強化

取組イメージ

調整中

- ◆ 地域資源を活用した新商品の開発、ものづくり企業の技術力向上<①>
- ◆ 国際認証等の導入促進など、国際競争力の一層の強化<①>
- ◆ 海外展開におけるデジタル技術を活用した交流・ビジネス手段の多角化<②>
- ◆ サプライチェーンの再編を重視した企業の生産拠点の移転等の対応を支援<②>
- ◆ SDGs やE-S-G投資<sup>※4</sup>に取り組む海外企業からの投資促進<③>
- ◆ 生産基盤の整備・経営安定対策の充実<④>
- ◆ 原材料等の自給率の向上など、生産基盤の強化<④>
- ◆ 新たな海外展開地域の開拓や誘客の多角化によるリスク分散<④>

関連する主なSDGsの目標



<>は展開方向Ⅲの対応方向を記載

展開方向Ⅲ：世界情勢の変化への機動的で柔軟な対応

案

取組の方向性

世界の経験やノウハウを学び、取り込みながら、本道の国際競争力やリスクマネジメント力の向上を図り、大きく変化する世界情勢に機動的かつ柔軟に対応する

(1) 世界を視野に入れた力強い地域経済の確立

背景

- ・グローバル化が地域経済に密接に関わる中、国際情勢の変化が本道にダイレクトに影響
- ・グローバル化に的確に対応するためには、地域の資源を最大限活用し、絶え間ないイノベーションに取り組むことが必要
- ・ロシアによるウクライナ侵略など、これまでの想定を超える大きな国際情勢の変化により道民の暮らしや経済に大きな影響

社会・経済情勢の変化

- ・国内回帰も含めたサプライチェーン<sup>※3</sup>再配置の動き
- ・CPTPPや日EU・EPAの発効など、経済連携の拡大
- ・国際経済活動における共通価値への関心の高まり
- ・グリーン社会の実現という経済構造転換に向けた取組の加速化
- ・気候変動や経済摩擦による輸入原料等の調達リスクの顕在化
- ・ロシアによるウクライナ侵略や東アジアにおける緊張の高まりなど

方向性

- 本道産業の国際競争力の強化
- 力強い農林水産業づくりの推進
- 地域産業の付加価値の向上、ものづくり力の強化
- グローバル・リスクに対応した施策の推進

対応方向

- ① 潜在力や競争力を有する食や自然、観光などの分野における価値の更なる磨き上げ
- ② 半導体やデータセンターなどデジタル関連産業の振興による本道経済の活性化
- ③ 未来を見据えた新たな社会経済の変化への対応強化
- ④ SDGs や脱炭素化など世界共通の課題解決に向けた取組と経済的な価値の創造
- ⑤ 本道の農林水産業の持続的な発展など、グローバル・リスクへの対応強化に向けた施策の展開

取組イメージ

- ◆ 地域資源を活用した新商品の開発、ものづくり企業の技術力向上<①>
- ◆ 国際認証等の導入促進など、国際競争力の一層の強化<①>
- ◆ 半導体関連産業の集積促進や産学官連携による人材の育成<②>
- ◆ 海外展開におけるデジタル技術を活用した交流・ビジネス手段の多角化<③>
- ◆ サプライチェーンの再編を重視した企業の生産拠点の移転等の対応を支援<③>
- ◆ SDGs やゼロカーボン、GX等に取り組む海外企業からの投資促進<④>
- ◆ 生産基盤の整備・経営安定対策の充実<⑤>
- ◆ 原材料等の自給率の向上など、生産基盤の強化<⑤>
- ◆ 新たな海外展開地域の開拓や誘客の多角化によるリスク分散<⑤>
- ◆ 輸出における特定の品目や国・地域に偏らない施策展開によるリスク分散<⑤>
- ◆ 食料安全保障の強化や燃料等高騰対策など、国際情勢の変化に機動的に対応した施策の実施<⑤>

関連する主なSDGsの目標



<>は展開方向Ⅲの対応方向を記載

**素案**

〈具体取組例〉

▶ 国際競争力の強化に向けた取組

～HACCP<sup>※</sup>認定取得に向けた講習会の開催(2014.4～)～

アメリカやEUなど、一部の国への水産物輸出にあたっては、衛生管理の要件を満たした加工施設について、事前の認定(HACCP認定)が必要であり、認定施設数の増加が輸出拡大に繋がります。  
このため、水産加工場での衛生管理意識の向上を目的とした講習会を実施しています。



▶ 「食料安全保障に関する推進チーム」の取組(2022.7～)

世界的に食料の安定供給へのリスクが顕在化する中、本道の農林水産業が我が国の食料自給率の向上と食料安全保障の強化に最大限寄与し、持続的に発展していくための取組を推進していくため、国との意見交換や国に対する政策提案を実施しています。

**案**

〈具体取組例〉

▶ 国際競争力の強化に向けた取組

～HACCP<sup>※</sup>認定取得に向けた講習会の開催(2014.4～)～

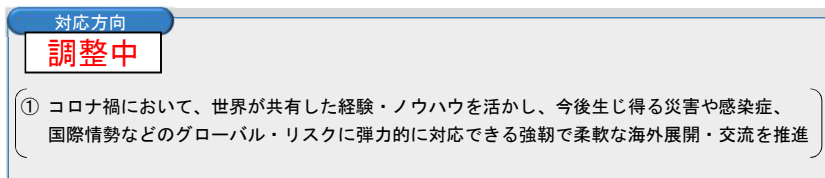
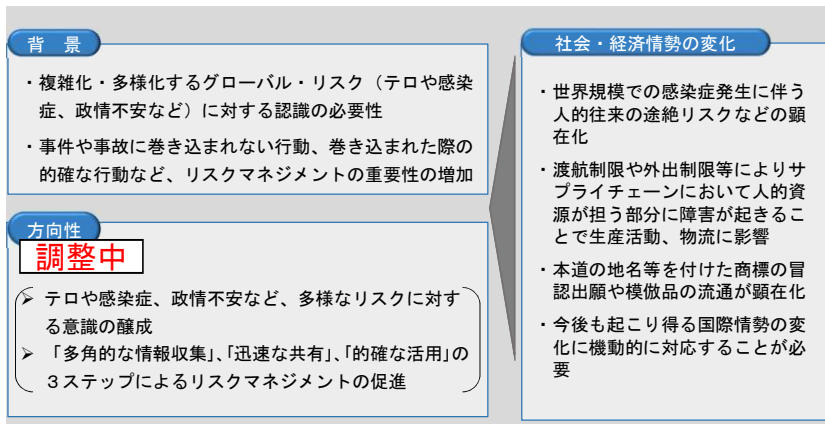
アメリカやEUなど、一部の国への水産物輸出にあたっては、衛生管理の要件を満たした加工施設について、事前の認定(HACCP認定)が必要であり、認定施設数の増加が輸出拡大に繋がります。  
このため、水産加工場での衛生管理意識の向上を目的とした講習会を実施しています。



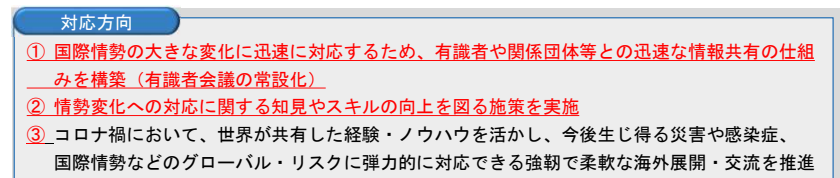
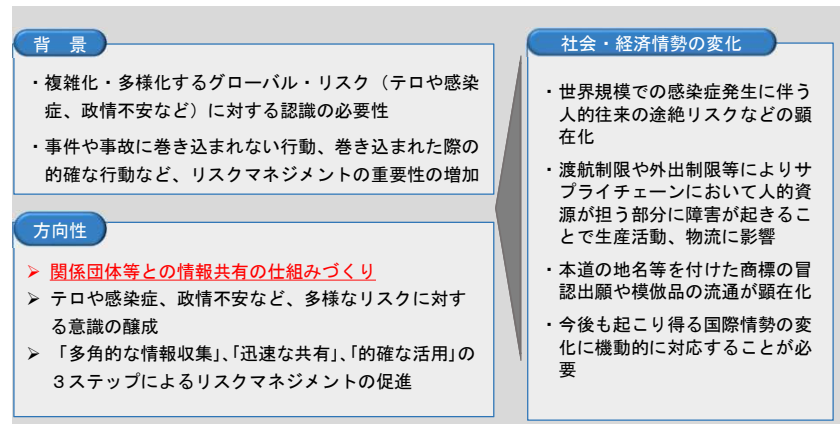
▶ 「食料安全保障に関する推進チーム」の取組(2022.7～)

世界的に食料の安定供給へのリスクが顕在化する中、本道の農林水産業が我が国の食料自給率の向上と食料安全保障の強化に最大限寄与し、持続的に発展していくための取組を推進していくため、国との意見交換や国に対する政策提案を実施しています。

(2) 海外展開・交流におけるリスクマネジメント



(2) 海外展開・交流におけるリスクマネジメント



## 調整中

- ◆道の海外拠点などのグローバル・ネットワークを通じたリスク関連情報の収集<①>
- ◆メーリングリストなどを通じた道内企業への適時のリスク関連情報の提供<①>
- ◆地域や道内企業に向けたリスク情報の活用・ノウハウを学ぶ勉強会、セミナーの開催<①>
- ◆災害時の多言語での情報発信や相談体制など、外国人のリスク対応の強化<①>
- ◆海外における商標侵害等のリスクや対抗策の普及啓発<①>

## ＜具体取組例＞

## ▶ リスク情報の共有・活用

～北海道への投資促進に向けた連携開催(2022.7～)～

関係機関の連携強化、地域における捜索力の向上や受入体制の強化を目的として、北海道への投資促進を担う関係機関を構成員とした連携会議を設置し、地域づくりと調和のとれた良質な投資誘致に向け、自治体への相談・支援体制の充実やリスクマネジメントの周知・喚起を図っています。



## ▶ 海外における商標侵害等のリスクや対抗策の普及啓発

～道産品輸出用シンボルマーク(2021.12月時点)～

「道産品輸出用シンボルマーク」は海外における道産品の識別力を高め、北海道ブランドを保護することを目的としており、香港、台湾、中国、韓国、ベトナム、シンガポール、タイの7か国・地域にて商標登録済みです。

2021年11月に上海で開催された輸入博覧会に、道産品を展示する北海道ブースを出展し、シンボルマークのPRを実施しています。



## ▶ 海外事情セミナー等の開催

道内企業の皆様の海外販路開拓の一助となるよう、JETRO北海道などとの連携により、海外市場の最新情報や現地ビジネスにおけるグローバルリスク等について情報提供を行うセミナーを開催



## ▶ 高校生の国際交流

ASEAN事務所が、コロナ禍により海外への修学旅行を断念した高等学校の要望に応じて、オンライン授業で現地屋台料理街からの中継や語学講座等を実施しました。



## ▶ 災害発生時の外国人支援体制の整備

～HIECCとの協定締結(2022.7)～

道内で地震、風水害などの大規模災害が発生した際、(公社)北海道国際交流・協力総合センター(HIECC)内に、『北海道災害時外国人支援センター』を設置し、北海道災害対策本部などと連携し、災害情報等の多言語発信や、在住外国人からの相談対応、避難所巡回による状況把握や市町村への情報提供などの支援活動を行う。

## ▶ ウクライナ情勢への対応に関する情報収集・共有

令和4年2月のロシアによるウクライナ侵略を受け、道内における影響の状況把握のため、ロシアビジネス関連事業者を対象とした調査や、道内金融機関や教育機関、文化・スポーツ団体等への個別にアリアンを実施し、庁内における連携会議や、企業向け情報交換会、自治体担当者による会議等にて情報を共有。

&lt; &gt;は展開方向Ⅲの対応方向を記載

## 取組主体

- 行政：競争力の強化に向けた環境づくり、リスク関連情報の収集や提供
- 企業・団体：グローバルな視点に立った対応力の強化(NPO・大学等)
- 道民：世界情勢の変化と影響への理解の深化

- ◆1次産業や経済界、国際関係、学識経験者など幅広い分野の有識者等との迅速な情報共有<①>
- ◆道の海外拠点などのグローバル・ネットワークを通じたリスク関連情報の収集<①>
- ◆メーリングリストなどを通じた道内企業への適時のリスク関連情報の提供<①>
- ◆地域や道内企業に向けたリスク情報の活用・ノウハウを学ぶ勉強会、セミナーの開催<②>
- ◆災害時の多言語での情報発信や相談体制など、外国人のリスク対応の強化<③>
- ◆海外における商標侵害等のリスクや対抗策の普及啓発<③>

## ＜具体取組例＞

## ▶ リスク情報の共有・活用

～北海道への投資促進に向けた連携開催(2022.7～)～

関係機関の連携強化、地域における捜索力の向上や受入体制の強化を目的として、北海道への投資促進を担う関係機関を構成員とした連携会議を設置し、地域づくりと調和のとれた良質な投資誘致に向け、自治体への相談・支援体制の充実やリスクマネジメントの周知・喚起を図っています。



## ▶ 海外における商標侵害等のリスクや対抗策の普及啓発

～道産品輸出用シンボルマーク(2021.12月時点)～

「道産品輸出用シンボルマーク」は海外における道産品の識別力を高め、北海道ブランドを保護することを目的としており、香港、台湾、中国、韓国、ベトナム、シンガポール、タイの7か国・地域にて商標登録済みです。

2021年11月に上海で開催された輸入博覧会に、道産品を展示する北海道ブースを出展し、シンボルマークのPRを実施しています。



## ▶ 海外事情セミナー等の開催

道内企業の皆様の海外販路開拓の一助となるよう、JETRO北海道などとの連携により、海外市場の最新情報や現地ビジネスにおけるグローバルリスク等について情報提供を行うセミナーを開催



## ▶ 高校生の国際交流

ASEAN事務所が、コロナ禍により海外への修学旅行を断念した高等学校の要望に応じて、オンライン授業で現地屋台料理街からの中継や語学講座等を実施しました。



## ▶ 災害発生時の外国人支援体制の整備

～HIECCとの協定締結(2022.7)～

道内で地震、風水害などの大規模災害が発生した際、(公社)北海道国際交流・協力総合センター(HIECC)内に、『北海道災害時外国人支援センター』を設置し、北海道災害対策本部などと連携し、災害情報等の多言語発信や、在住外国人からの相談対応、避難所巡回による状況把握や市町村への情報提供などの支援活動を行う。

&lt; &gt;は展開方向Ⅲの対応方向を記載

## 取組主体

- 行政：競争力の強化に向けた環境づくり、リスク関連情報の収集や提供
- 企業・団体：グローバルな視点に立った対応力の強化(NPO・大学等)
- 道民：世界情勢の変化と影響への理解の深化

## 4 北海道と世界各地との交流 ～各国・地域の素案

素案

北海道は、アジアの北東端に位置し、アジア、北米、ロシアの諸外国・地域の結節点道との交流状況などを考慮しつつ、ターゲットとなる国や地域における重点的な取組を（各国・地域の展開内容及び分野別の重点等については、適宜、見直しを行い、その結果については道の

<p><b>アジア</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名目GDP：260,890億ドル</li> <li>・実質経済成長率：4.33%</li> <li>・訪日外国人来道者数：2,136,600人</li> <li>・人口：42.0億人</li> <li>・食の輸出額：610.4億円</li> </ul> <p><b>展開内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食や観光、投資など、経済交流のアップグレード</li> <li>・留学生など、外国人材の受入拡大</li> <li>・姉妹友好提携地域との青少年交流や文化・スポーツ交流など、幅広い分野での交流推進、地方政府等との強固な関係の構築</li> <li>・食の輸出人材の育成、拡大</li> <li>・本道企業が有する技術・サービスを活かした事業展開</li> </ul>	<p><b>欧州（ロシア以外）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名目GDP：193,430億ドル</li> <li>・実質経済成長率：3.19%</li> <li>・人口：6.9億人</li> <li>・訪日外国人来道者数：39,300人</li> <li>・訪日外国人来道者数：20.0億円</li> <li>・食の輸出額：20.0億円</li> <li>・定期便：1路線</li> </ul> <p><b>展開内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アドベンチャートラベルなどによるインバウンドの取り込み</li> <li>・日本酒やホタテ、サケなど、道産食品の輸出拡大</li> <li>・北極海航路の利活用に向けた調査・研究</li> <li>・本道の優位性や地域資源を活かした投資誘致の促進</li> </ul>
<p><b>中国</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名目GDP：125,580億ドル</li> <li>・実質経済成長率：6.66%</li> <li>・人口：14.3億人</li> <li>・訪日外国人来道者数：594,000人</li> <li>・食の輸出額：343億円</li> <li>・定期便：10路線</li> <li>・道の海外拠点：上海事務所</li> <li>・道の姉妹友好提携地域等：黒竜江省(1986)</li> <li>・経済連携（覚書等）：東北三省（黒龍江省、吉林省、遼寧省）と経済交流に関する覚書に基づく経済代表団の派遣・受入</li> </ul> <p><b>展開内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道ブランドが浸透している地域の拡大に向け、観光誘客や道産品輸出の取組の推進</li> <li>・環境技術・高齢福祉・DX等の分野に係る技術交流の展開</li> <li>・黒竜江省との青少年交流や文化・スポーツ交流など、幅広い分野での交流推進</li> <li>・姉妹友好提携地域等との教育交流の推進</li> </ul>	<p><b>中東</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名目GDP：15,920億ドル</li> <li>・実質経済成長率：2.76%</li> <li>・人口：0.5億人</li> <li>・訪日外国人来道者数：436,900人</li> <li>・食の輸出額：11億円</li> <li>・定期便：2路線</li> <li>・道の海外拠点：ソウル事務所</li> <li>・道の姉妹友好提携地域等：ソウル特別市(2010)、釜山広域市(2005)、済州特別自治道(2016)、慶尚南道(2006)</li> </ul> <p><b>展開内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食や観光など北海道ブランドの更なる浸透</li> <li>・青少年交流や文化・スポーツ交流など、姉妹友好提携地域との地域レベルでの交流の深化</li> </ul>
<p><b>韓国</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名目GDP：15,920億ドル</li> <li>・実質経済成長率：2.76%</li> <li>・人口：0.5億人</li> <li>・訪日外国人来道者数：436,900人</li> <li>・食の輸出額：11億円</li> <li>・定期便：2路線</li> <li>・道の海外拠点：ソウル事務所</li> <li>・道の姉妹友好提携地域等：ソウル特別市(2010)、釜山広域市(2005)、済州特別自治道(2016)、慶尚南道(2006)</li> </ul> <p><b>展開内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食や観光など北海道ブランドの更なる浸透</li> <li>・青少年交流や文化・スポーツ交流など、姉妹友好提携地域との地域レベルでの交流の深化</li> </ul>	<p><b>アフリカ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名目GDP：23,710億ドル</li> <li>・実質経済成長率：3.21%</li> <li>・人口：13.9億人</li> <li>・訪日外国人来道者数：389,100人</li> <li>・食の輸出額：72億円</li> <li>・定期便：4路線</li> <li>・道の姉妹友好提携地域等：タイ・チェンマイ県(2013)</li> <li>・道の海外拠点：ASEAN事務所</li> <li>・経済連携（覚書等）：【ベトナム】政府機関との経済・人材交流に関する覚書に基づく取組促進</li> </ul> <p><b>展開内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どさんこプラザ（タイ・シンガポール）や駐在員が有するネットワークを活用した食や観光など北海道ブランドの一層の浸透</li> <li>・環境技術・高齢福祉・DX等の分野に係る技術交流の展開</li> <li>・本道の優位性や地域資源を活かした投資誘致の促進</li> </ul>
<p><b>台湾・香港</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名目GDP：9,180億ドル</li> <li>・実質経済成長率：2.28%</li> <li>・人口：0.3億人</li> <li>・訪日外国人来道者数：666,700人</li> <li>・食の輸出額：183億円</li> <li>・定期便：5路線</li> <li>・経済連携（覚書等）：香港貿易発展局との覚書に基づく経済交流促進（貿易・投資・観光分野）</li> </ul> <p><b>展開内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食や観光など北海道ブランドの更なる浸透</li> <li>・本道の優位性や地域資源を活かした投資誘致の促進</li> </ul>	<p><b>ASEAN諸国</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名目GDP：28,630億ドル</li> <li>・実質経済成長率：5.05%</li> <li>・人口：6.7億人</li> <li>・訪日外国人来道者数：389,100人</li> <li>・食の輸出額：72億円</li> <li>・定期便：4路線</li> <li>・道の姉妹友好提携地域等：タイ・チェンマイ県(2013)</li> <li>・道の海外拠点：ASEAN事務所</li> <li>・経済連携（覚書等）：【ベトナム】政府機関との経済・人材交流に関する覚書に基づく取組促進</li> </ul> <p><b>展開内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食や観光など、潜在的な需要の将来的な取り込み</li> </ul>
<p><b>ASEAN諸国</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名目GDP：28,630億ドル</li> <li>・実質経済成長率：5.05%</li> <li>・人口：6.7億人</li> <li>・訪日外国人来道者数：389,100人</li> <li>・食の輸出額：72億円</li> <li>・定期便：4路線</li> <li>・道の姉妹友好提携地域等：タイ・チェンマイ県(2013)</li> <li>・道の海外拠点：ASEAN事務所</li> <li>・経済連携（覚書等）：【ベトナム】政府機関との経済・人材交流に関する覚書に基づく取組促進</li> </ul> <p><b>展開内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どさんこプラザ（タイ・シンガポール）や駐在員が有するネットワークを活用した食や観光など北海道ブランドの一層の浸透</li> <li>・環境技術・高齢福祉・DX等の分野に係る技術交流の展開</li> <li>・本道の優位性や地域資源を活かした投資誘致の促進</li> </ul>	<p><b>シンガポール</b></p> <p>■道ASEAN事務所（2016年～）</p> <p>【部長】 派遣者1、現地スタッフ1</p> <p>■その他の職員派遣</p> <p>【タイ/バンコク】北洋銀行/バンコク駐在員事務所（2019年～）1名</p> <p><b>中東</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名目GDP：34,680億ドル</li> <li>・実質経済成長率：1.29%</li> <li>・人口：4.0億人</li> <li>・訪日外国人来道者数：436,900人</li> <li>・食の輸出額：11億円</li> <li>・定期便：2路線</li> <li>・道の海外拠点：ソウル事務所</li> <li>・道の姉妹友好提携地域等：ソウル特別市(2010)、釜山広域市(2005)、済州特別自治道(2016)、慶尚南道(2006)</li> </ul> <p><b>展開内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食や観光など、潜在的な需要の将来的な取り込み</li> </ul> <p><b>アフリカ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名目GDP：23,710億ドル</li> <li>・実質経済成長率：3.21%</li> <li>・人口：13.9億人</li> <li>・訪日外国人来道者数：389,100人</li> <li>・食の輸出額：72億円</li> <li>・定期便：4路線</li> <li>・道の姉妹友好提携地域等：タイ・チェンマイ県(2013)</li> <li>・道の海外拠点：ASEAN事務所</li> <li>・経済連携（覚書等）：【ベトナム】政府機関との経済・人材交流に関する覚書に基づく取組促進</li> </ul> <p><b>展開内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道ASEAN事務所などの駐在員が有するネットワークやどさんこプラザ（タイ・シンガポール）を活用した食や観光など北海道ブランドの一層の浸透</li> <li>・環境技術・高齢福祉・DX等の分野に係る技術交流の展開</li> <li>・本道の優位性や地域資源を活かした投資誘致の促進</li> </ul>

## 4 北海道と世界各地との交流 ～各国・地域の素案

素案

北海道は、アジアの北東端に位置し、アジア、北米、ロシアの諸外国・地域の結節点道との交流状況などを考慮しつつ、ターゲットとなる国や地域における重点的な取組を（各国・地域の展開内容及び分野別の重点等については、適宜、見直しを行い、その結果については道の

<p><b>アジア</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名目GDP：260,890億ドル</li> <li>・実質経済成長率：4.33%</li> <li>・訪日外国人来道者数：2,136,600人</li> <li>・人口：42.0億人</li> <li>・食の輸出額：610.4億円</li> </ul> <p><b>展開内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食や観光、投資など、経済交流のアップグレード</li> <li>・留学生など、外国人材の受入拡大</li> <li>・姉妹友好提携地域との青少年交流や文化・スポーツ交流など、幅広い分野での交流推進、地方政府等との強固な関係の構築</li> <li>・食の輸出人材の育成、拡大</li> <li>・本道企業が有する技術・サービスを活かした事業展開</li> </ul>	<p><b>欧州（ロシア以外）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名目GDP：193,430億ドル</li> <li>・実質経済成長率：3.19%</li> <li>・人口：6.9億人</li> <li>・訪日外国人来道者数：39,300人</li> <li>・訪日外国人来道者数：20.0億円</li> <li>・食の輸出額：20.0億円</li> <li>・定期便：1路線</li> </ul> <p><b>展開内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アドベンチャートラベルなどによるインバウンドの取り込み</li> <li>・日本酒やホタテ、サケなど、道産食品の輸出拡大</li> <li>・北極海航路の利活用に向けた調査・研究</li> <li>・本道の優位性や地域資源を活かした投資誘致の促進</li> </ul>
<p><b>中国</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名目GDP：125,580億ドル</li> <li>・実質経済成長率：6.66%</li> <li>・人口：14.3億人</li> <li>・訪日外国人来道者数：594,000人</li> <li>・食の輸出額：343億円</li> <li>・定期便：10路線</li> <li>・道の海外拠点：上海事務所</li> <li>・道の姉妹友好提携地域等：黒竜江省(1986)</li> <li>・経済連携（覚書等）：東北三省（黒龍江省、吉林省、遼寧省）と経済交流に関する覚書に基づく経済代表団の派遣・受入</li> </ul> <p><b>展開内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道ブランドが浸透している地域の拡大に向け、観光誘客や道産品輸出の取組の推進</li> <li>・環境技術・高齢福祉・DX等の分野に係る技術交流の展開</li> <li>・黒竜江省との青少年交流や文化・スポーツ交流など、幅広い分野での交流推進</li> <li>・姉妹友好提携地域等との教育交流の推進</li> </ul>	<p><b>中東</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名目GDP：15,920億ドル</li> <li>・実質経済成長率：2.76%</li> <li>・人口：0.5億人</li> <li>・訪日外国人来道者数：436,900人</li> <li>・食の輸出額：11億円</li> <li>・定期便：2路線</li> <li>・道の海外拠点：ソウル事務所</li> <li>・道の姉妹友好提携地域等：ソウル特別市(2010)、釜山広域市(2005)、済州特別自治道(2016)、慶尚南道(2006)</li> </ul> <p><b>展開内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食や観光など北海道ブランドの更なる浸透</li> <li>・青少年交流や文化・スポーツ交流など、姉妹友好提携地域との地域レベルでの交流の深化</li> </ul>
<p><b>韓国</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名目GDP：15,920億ドル</li> <li>・実質経済成長率：2.76%</li> <li>・人口：0.5億人</li> <li>・訪日外国人来道者数：436,900人</li> <li>・食の輸出額：11億円</li> <li>・定期便：2路線</li> <li>・道の海外拠点：ソウル事務所</li> <li>・道の姉妹友好提携地域等：ソウル特別市(2010)、釜山広域市(2005)、済州特別自治道(2016)、慶尚南道(2006)</li> </ul> <p><b>展開内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食や観光など北海道ブランドの更なる浸透</li> <li>・青少年交流や文化・スポーツ交流など、姉妹友好提携地域との地域レベルでの交流の深化</li> </ul>	<p><b>アフリカ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名目GDP：23,710億ドル</li> <li>・実質経済成長率：3.21%</li> <li>・人口：13.9億人</li> <li>・訪日外国人来道者数：389,100人</li> <li>・食の輸出額：72億円</li> <li>・定期便：4路線</li> <li>・道の姉妹友好提携地域等：タイ・チェンマイ県(2013)</li> <li>・道の海外拠点：ASEAN事務所</li> <li>・経済連携（覚書等）：【ベトナム】政府機関との経済・人材交流に関する覚書に基づく取組促進</li> </ul> <p><b>展開内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食や観光など、潜在的な需要の将来的な取り込み</li> </ul>
<p><b>台湾・香港</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名目GDP：9,180億ドル</li> <li>・実質経済成長率：2.28%</li> <li>・人口：0.3億人</li> <li>・訪日外国人来道者数：666,700人</li> <li>・食の輸出額：183億円</li> <li>・定期便：5路線</li> <li>・経済連携（覚書等）：香港貿易発展局との覚書に基づく経済交流促進（貿易・投資・観光分野）</li> </ul> <p><b>展開内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食や観光など北海道ブランドの更なる浸透</li> <li>・本道の優位性や地域資源を活かした投資誘致の促進</li> </ul>	<p><b>ASEAN諸国</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名目GDP：28,630億ドル</li> <li>・実質経済成長率：5.05%</li> <li>・人口：6.7億人</li> <li>・訪日外国人来道者数：389,100人</li> <li>・食の輸出額：72億円</li> <li>・定期便：4路線</li> <li>・道の姉妹友好提携地域等：タイ・チェンマイ県(2013)</li> <li>・道の海外拠点：ASEAN事務所</li> <li>・経済連携（覚書等）：【ベトナム】政府機関との経済・人材交流に関する覚書に基づく取組促進</li> </ul> <p><b>展開内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食や観光など、潜在的な需要の将来的な取り込み</li> </ul>
<p><b>ASEAN諸国</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名目GDP：28,630億ドル</li> <li>・実質経済成長率：5.05%</li> <li>・人口：6.7億人</li> <li>・訪日外国人来道者数：389,100人</li> <li>・食の輸出額：72億円</li> <li>・定期便：4路線</li> <li>・道の姉妹友好提携地域等：タイ・チェンマイ県(2013)</li> <li>・道の海外拠点：ASEAN事務所</li> <li>・経済連携（覚書等）：【ベトナム】政府機関との経済・人材交流に関する覚書に基づく取組促進</li> </ul> <p><b>展開内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道ASEAN事務所などの駐在員が有するネットワークやどさんこプラザ（タイ・シンガポール）を活用した食や観光など北海道ブランドの一層の浸透</li> <li>・環境技術・高齢福祉・DX等の分野に係る技術交流の展開</li> <li>・本道の優位性や地域資源を活かした投資誘致の促進</li> </ul>	<p><b>シンガポール</b></p> <p>■道ASEAN事務所（2016年～）</p> <p>【部長】 派遣者1、現地スタッフ1</p> <p>■その他の職員派遣</p> <p>【タイ/バンコク】北洋銀行/バンコク駐在員事務所（2019年～）1名</p> <p><b>中東</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名目GDP：34,680億ドル</li> <li>・実質経済成長率：1.29%</li> <li>・人口：4.0億人</li> <li>・訪日外国人来道者数：436,900人</li> <li>・食の輸出額：11億円</li> <li>・定期便：2路線</li> <li>・道の海外拠点：ソウル事務所</li> <li>・道の姉妹友好提携地域等：ソウル特別市(2010)、釜山広域市(2005)、済州特別自治道(2016)、慶尚南道(2006)</li> </ul> <p><b>展開内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食や観光など、潜在的な需要の将来的な取り込み</li> </ul> <p><b>アフリカ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名目GDP：23,710億ドル</li> <li>・実質経済成長率：3.21%</li> <li>・人口：13.9億人</li> <li>・訪日外国人来道者数：389,100人</li> <li>・食の輸出額：72億円</li> <li>・定期便：4路線</li> <li>・道の姉妹友好提携地域等：タイ・チェンマイ県(2013)</li> <li>・道の海外拠点：ASEAN事務所</li> <li>・経済連携（覚書等）：【ベトナム】政府機関との経済・人材交流に関する覚書に基づく取組促進</li> </ul> <p><b>展開内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術協力、国際貢献の取組の推進（JICA事業等の活用）</li> </ul>

## 各分野別の重点

素案

### 食

- ◆道内各地の資源を活かし、海外需要の積極的な取り込みを図るため、特定品目や地域に偏らない施策の展開によるリスク分散などを図りながら、輸出拡大戦略で明示した品目別、国・地域別、テーマ別の展開方向に基づき、道産食品の輸出拡大に取り組みます。(2023年度まで)

重点国・地域	中国、韓国、台湾、香港、ベトナム、タイ、シンガポールなど ※どさんこプラザ <sup>®</sup> 出店国
主要品目	(農業分野) 米・青果物・畜産物・畜産加工品(水産分野) ホタテ、サケ・マス、活ホッキ(その他) 日本酒などアルコール飲料 など
関連計画等	「北海道食の輸出拡大戦略(第Ⅱ期)」

### 関連する取組イメージ

#### 調整中

- ◆トッパセールスによる本道の魅力セミナーなど、食、観光、文化などを組み合わせたショーケース化プロモーションの実施
- ◆食の高付加価値化、米や日本酒といった中期的な重点品目に加え、伸びしろが期待される魚種等、中国やASEANなどの輸出先国・地域の重点化などによる道産食品の輸出拡大
- ◆マーケットインによる新たな市場展開、どさんこプラザ海外店などを活用した販路拡大
- ◆人々の消費動向の変化への対応強化
- ◆国際認証等の導入促進など、国際競争力の一層の強化

### 観光・交通

- ◆東アジア(中国、韓国、台湾、香港など)からの観光客増加に加え、ASEANや欧米豪からの外国人観光客を増加させるなど、観光需要の回復に向けて戦略的に誘客促進に取り組みます。
- ◆感染症の状況を踏まえた段階的な誘客や観光客の季節的・地域的偏在の解消に取り組むとともに、リスク分散と新たな需要の獲得に向けて、誘客の多角化を進めるなど、交通ネットワークの充実を図ります。

重点国・地域	感染症の状況に応じて重点ターゲット国・地域を選定
関連計画等	「北海道交通政策総合指針重点戦略(2021-2025)」 「北海道アウトドア活動振興推進計画」 「第5期北海道観光のくにつくり行動計画」

### 関連する取組イメージ

- 【観光】
  - ◆一人当たりの旅行消費額が高い欧米豪からのアドベンチャー旅行の推進など、新たな観光価値の創出
  - ◆MICE・IRなど新たなインバウンド等の取次方策の検討
  - ◆どさんこプラザ海外店の展開やHOKKAIDO LOVE!プロジェクト等、食や観光などの関係者が一体となった地域ブランディングの展開
  - ◆新たな海外展開地域の開拓や誘客の多角化によるリスク分散
- 【交通】
  - ◆道産品の輸出拡大に向けた効率的な物流網の構築
  - ◆国際旅客便の再開や未就航路線の誘致など航空ネットワークの充実・強化

### 投資

- ◆国際情勢が変化する中、リスクマネジメント力を高めるとともに、食など本道の優位性を活かせる産業や、SDGsにつながる成長分野をターゲットとして投資誘致を促進します。

地域資源を活かした分野	食、観光、バイオ、データセンター、IT・バックオフィス
関連計画等	「北海道産業振興条例」

### 関連する取組イメージ

- ◆食や自然・環境など本道の強み・特性を活かしたMICEや投資の誘致推進
- ◆ゼロカーボンやデジタルトランスフォーメーション(DX)といった社会経済環境の変化に対応した国内外からのデータセンター等の企業誘致推進
- ◆SDGsやESG投資に取り組む海外企業からの投資促進
- ◆地域や道内企業に向けたリスク情報の活用・ノウハウを学ぶ勉強会、セミナーの開催

### 人材・技術交流

- ◆海外の成長力を地域の活性化につなげるため、アジアをはじめ、海外からの留学生等の受入拡大や本道への定着を促進します。
- ◆双方にとって実りある交流となるよう、相手地域のリスクを充分に見極めながら、現地企業と道内企業との環境技術・高齢福祉・DX等の分野に係る技術交流を中心に展開します。

重点国・地域	中国、ASEAN
関連計画等	「北海道雇用・人材対策基本計画」 「人材確保に向けた連携事業～本道経済の持続的発展のためのプログラム～」 「外国人材の受入拡大・共生に向けた対応方向」

### 関連する取組イメージ

- ◆相談体制の充実や地域の対応力の強化、適正な雇用・研修など、外国人が安心して働き、暮らせる環境づくり
- ◆大学等と連携したグローバル人材の育成や、道内の若者の留学、海外研修等の支援
- ◆企業へのセミナーやマッチングの実施など、外国人材定着のための取組の促進
- ◆Face-to-Face×デジタル技術の活用による多様な交流スタイルの確立
- ◆オリンピック・パラリンピックなど、国際的なスポーツ、文化イベントを契機とした持続的な海外との交流の促進
- ◆環境技術等による課題解決型交流・協力の推進

## 各分野別の重点

案

### 食

- ◆道内各地の資源を活かし、海外需要の積極的な取り込みを図るため、特定品目や地域に偏らない施策の展開によるリスク分散などを図りながら、輸出拡大戦略で明示した品目別、国・地域別、テーマ別の展開方向に基づき、道産食品の輸出拡大に取り組みます。(2023年度まで)

重点国・地域	中国、韓国、台湾、香港、ベトナム、タイ、シンガポールなど ※どさんこプラザ <sup>®</sup> 出店国
主要品目	(農業分野) 米・青果物・畜産物・畜産加工品(水産分野) ホタテ、サケ・マス、活ホッキ(その他) 日本酒やワインなどアルコール飲料 など
関連計画等	「北海道食の輸出拡大戦略(第Ⅱ期)」

### 関連する取組イメージ

- ◆トッパセールスによる本道の魅力セミナーなど、食、観光、文化などを組み合わせたショーケース化プロモーションの実施
- ◆食の高付加価値化、米、日本酒、青果物や牛肉といった中期的な重点品目に加え、伸びしろが期待される魚種等、中国やASEANなどの輸出先国・地域の重点化などによる道産食品の輸出拡大
- ◆マーケットインによる新たな市場展開、どさんこプラザ海外店などを活用した販路拡大
- ◆人々の消費動向の変化への対応強化
- ◆国際認証等の導入促進など、国際競争力の一層の強化
- ◆輸出における特定の品目や国・地域に偏らない施策展開によるリスク分散

### 観光・交通

- ◆東アジア(中国、韓国、台湾、香港など)からの観光客増加に加え、ASEANや欧米豪からの外国人観光客を増加させるなど、観光需要の回復及び高付加価値化に向けて戦略的に誘客促進に取り組みます。
- ◆感染症の状況を踏まえた段階的な誘客や観光客の季節的・地域的偏在の解消に取り組むとともに、リスク分散と新たな需要の獲得に向けて、誘客の多角化を進めるなど、交通ネットワークの充実を図ります。

重点国・地域	感染症の状況に応じて重点ターゲット国・地域を選定
関連計画等	「北海道交通政策総合指針重点戦略(2021-2025)」 「北海道アウトドア活動振興推進計画」 「第5期北海道観光のくにつくり行動計画」

### 関連する取組イメージ

- 【観光】
  - ◆一人当たりの旅行消費額が高い欧米豪からのアドベンチャー旅行の推進など、新たな観光価値の創出
  - ◆MICE・IRなど新たなインバウンド等の取次方策の検討
  - ◆どさんこプラザ海外店の展開やHOKKAIDO LOVE!プロジェクト等、食や観光などの関係者が一体となった地域ブランディングの展開
  - ◆新たな海外展開地域の開拓や誘客の多角化によるリスク分散
- 【交通】
  - ◆道産品の輸出拡大に向けた効率的な物流網の構築
  - ◆国際旅客便の再開や未就航路線の誘致など航空ネットワークの充実・強化

### 投資

- ◆国際情勢が変化する中、リスクマネジメント力を高めるとともに、食など本道の優位性を活かせる産業や、SDGsにつながる成長分野をターゲットとして投資誘致を促進します。

地域資源を活かした分野	食、観光、バイオ、データセンター、IT・バックオフィス
関連計画等	「北海道産業振興条例」

### 関連する取組イメージ

- ◆食や自然・環境など本道の強み・特性を活かしたMICEや投資の誘致推進
- ◆ゼロカーボンやデジタルトランスフォーメーション(DX)といった社会経済環境の変化に対応した国内外からのデータセンター等の企業誘致推進
- ◆SDGsやゼロカーボン、GX等に取り組む海外企業からの投資促進
- ◆地域や道内企業に向けたリスク情報の活用・ノウハウを学ぶ勉強会、セミナーの開催

### 人材・技術交流

- ◆海外の成長力を地域の活性化につなげるため、アジアをはじめ、海外からの留学生等の受入拡大や本道への定着を促進します。
- ◆双方にとって実りある交流となるよう、相手地域のリスクを充分に見極めながら、現地企業と道内企業との環境技術・高齢福祉・DX等の分野に係る技術交流を中心に展開します。

重点国・地域	中国、ASEAN
関連計画等	「北海道雇用・人材対策基本計画」 「人材確保に向けた連携事業～本道経済の持続的発展のためのプログラム～」 「外国人材の受入拡大・共生に向けた対応方向」

### 関連する取組イメージ

- ◆相談体制の充実や地域の対応力の強化、適正な雇用・研修など、外国人が安心して働き、暮らせる環境づくり
- ◆大学等と連携したグローバル人材の育成や、道内の若者の留学、海外研修等の支援
- ◆企業へのセミナーやマッチングの実施など、外国人材定着のための取組の促進
- ◆Face-to-Face×デジタル技術の活用による多様な交流スタイルの確立
- ◆オリンピック・パラリンピックなど、国際的なスポーツ、文化イベントを契機とした持続的な海外との交流の促進
- ◆環境技術等による課題解決型交流・協力の推進